

ふくやま実験クエスト 課題内容

No./名称	No.4/いつでも誰もが楽しく通える高齢者の居場所づくり
現状(背景)	<p>○背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の高齢化率は年々上昇し、現状は29.2%、2026年には29.8%、2040年には34.1%となる見込み ・要介護(要支援)認定者は2035年まで増加し続け、介護保険給付費も増加を続ける見込み ・団塊の世代よりも若い高齢者の考え方が変わってきており、介護予防施策をニーズに即した柔軟かつ、より効果的な形に変えていく必要がある <p>○行政課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険給付費が年々増加し続けている ・要支援認定者数の割合が国・県平均より多い <p>○高齢者の居場所づくりの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の固定化・高齢化 ・担い手の不足・高齢化 ・活動内容のマンネリ化 ・前期高齢者のニーズに合致していない
目標(目指す姿)	<p>○目標</p> <p>社会参加活動の増加や生活習慣の改善行動を促し元気高齢者を増やす</p> <p>○居場所の目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間のアイデアや運営手法を活用した新たな発想の居場所(前期高齢者のニーズに即した居場所) ・気軽に参加できる居場所(新たな担い手の活動場所となったり、あらゆる人が気軽に参加できたりする敷居の低い居場所) ・持続性のある居場所(参加者や担い手の世代交代がスムーズに進む居場所) <p>※上記の一部のみの寄与でも提案可能</p>
目標達成に向けたアクションにおいて主に懸念される項目等	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所までの移動手段(免許を返納している人等移動手段のない人への対応) ・居場所の周知(高齢者にはSNS等では伝わりにくい)
提供可能データ・環境等	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所の活動数や活動内容 ・現在高齢者の居場所づくりを委託している社会福祉協議会の意見等